

令和 7 年度 第 1 回松江市スポーツ推進審議会 会議録

1 日 時 令和 7 年 6 月 12 日（木） 10 時 00 分～11 時 30 分

2 場 所 松江市役所 第二常任委員会室

3 出席者

(1) 委員（13 名）

松浦会長、西村副会長、安部委員、上田委員、大塚委員、坂元委員、
白水委員、高梨委員、福田委員、三島委員、森山委員、山縣委員、湯町委員

(2) 事務局

松江市 文化スポーツ部 桑原部長

スポーツ振興課 佐々木課長、山尾係長、三原、昌子、江戸

スポーツ施設課 石田課長

4 次 第

- | |
|--------------------------|
| 1 開会 |
| 2 委員紹介 |
| 3 あいさつ |
| 4 報告 |
| (1) 第 2 期松江市スポーツ推進計画について |
| (2) 第 3 期松江市スポーツ推進計画について |
| (3) 令和 7 年度の取組について |
| 5 議事 |
| (1) 今後の具体的取組について |
| (2) その他 |
| 6 事務連絡 |
| 7 閉会 |

5 議事等の要旨

(1) 報告

第 2 期及び第 3 期松江市スポーツ推進計画の成果指標の実績値並びに令和 7 年度の取組について、事務局から報告を行った。

(2) 議事

第 3 期スポーツ推進計画に基づく今後の具体的取組について、事務局から説明の後、委員から意見聴取を行った。

6 会議経過 別紙のとおり

7 所管課 松江市文化スポーツ部スポーツ振興課（電話 0852-55-5296）

会議経過

[10 時 00 分 開会]

1 開会

○事務局（山尾係長）

ただいまより令和 7 年度第 1 回松江市スポーツ推進審議会を開催いたします。本日、議事に入るまで進行を務めさせていただきますスポーツ振興課の山尾でございます。どうぞよろしくお願いいたします。本日の審議会でございますが、会議は公開の会議のため、報道機関をはじめ一般市民の方も傍聴可能となりますことをお知らせいたします。会議は概ね 90 分程度の 11 時 30 分を終了予定としております。

2 委員紹介

○事務局（山尾係長）

委員名簿をご覧ください。このたびお二方が辞任されたため、新たにお二方を委員として委嘱させていただいております。新任のお二方を紹介させていただきます。

松江市中学校体育連盟会長、上田亜由美様でございます。

株式会社 S K S S 代表取締役社長、高梨勇人様でございます。

なお、新しい委員の方々の任期につきましては、他の委員の皆様と同じく令和 8 年 8 月 28 日まででございます。よろしくお願いいたします。

3 あいさつ

○事務局（山尾係長）

それでは、松江市文化スポーツ部長桑原賢司よりご挨拶を申し上げます。

○桑原部長

皆さんおはようございます。文化スポーツ部長の桑原でございます。どうぞよろしくお願いいたします。委員の皆様におかれまして大変お忙しい中ご出席いただきまして誠にありがとうございます。また、平素より本市のスポーツ施策の推進につきましてご理解とご協力いただいておりますことに重ねてお礼申し上げます。ありがとうございます。昨年度は皆様のご協力によりまして第 3 期松江市スポーツ推進計画を策定することができました。今年度からこの計画をもとに松江市におけるスポーツ推進事業に一層取り組んで参りたいと考えておるところでございます。

今年の 3 月に松江スポーツ Kommission を設立いたしました。先週は第 2 回交流ミーテ

ィングを開催いたしまして、本審議会の松浦会長に事例発表していただきまして、大変盛況で終えることができました。今後も、スポーツに関係する団体の繋がりづくりや大会の誘致支援など、スポーツを通じて松江を盛り上げる取組をして参りたいと考えております。それから今年の 7 月 28 日からはインターハイの男子バレーボール競技が本市で開催されます。本日我々も揃いのポロシャツを着ておりまして、大会と一緒に盛り上げて参りたいなと思っております。大会期間中は、選手、役員、それから応援の方も含めまして、約 3 万人の方がいらっしゃるということでございますので、しっかりおもてなしもして参りたいと思っております。そして、インターハイが終わったあと来年の 8 月にかけて、松江市総合体育館の改修工事が行われます。長期にわたる改修となりますことから、市民の皆様には大変ご迷惑をお掛けすることになりますけれども、B リーグプレミア参入に向けまして、エンターテイメント性の溢れるアリーナとなるよう、そして市民の皆さんに喜んでいただけるアリーナとなるようにしっかりと進めて参りたいと思っております。

それから最後になりますが、松江城マラソンの申し込みの状況につきましてですね、ご報告申し上げます。昨年の松江城マラソンは 4,552 名の選手の皆さんに参加登録いただきまして、RUNNET の評価は 87.3 点と、過去最高の評価をいただいたところでございます。今年はすでに 1,400 人を超える申し込みをいただいております、国内でも人気のマラソンになってきたかなということを感じておるところでございます。松江市のスポーツの存在感をより高められるよう今後とも取り組んで参りたいと思っておりますので、引き続き皆様のご協力をお願いいたします。本日はどうぞよろしくお願い致します。

4 報告

○事務局（山尾係長）

ここから進行を松浦会長にお願いしたいと思います。よろしくお願い致します。

○松浦会長

改めまして皆さんおはようございます。今日も進行司会をするということでございますので、西村副会長さんの助けを借りながら頑張りたいと思います。皆さんのご協力をお願いしたいと思います。

先ほど部長さんからスポーツコミッションの話がございました。どんなものだろうと思いつながら、この間は出席させていただく機会がございました。多種多様といいますか、いろんな立場の方、遠くは岡山からもお越しになっておられて、そういう方々が異業種交流、スポーツを中心として関わりを持ってさらに社会貢献をしようという話だったと思いますが、びっくりしました。いろんな業種の方がいらっしゃって名刺交換もできるし、そしてまた新しいルートもできるかなと思って感心したところでございます。これからは機会があれば皆さんにもぜひ参加して、空気を吸っていただいて、何か参考になることがあればと思って

おるところでございます。もうひとつは、総合体育館の改修が始まるということでございますが、新しくさらにパワーアップを、最先端の技術を持って映像等についての改修も併せて行いたいと市長さんがお考えのようでございます。どうぞ皆様のご期待を添えながら、松江市がさらに文化・スポーツで向上できるまちづくりに繋がるよう私どもも担っていきたいと思っておりますのでどうぞよろしくお願いいたします。

それではレジュメに従いまして報告事項に移ります。「第2期松江市スポーツ推進計画について」及び「第3期松江市スポーツ推進計画について」は関連する事項でございますので、事務局から一括で説明をお願いしたいと思います。

○事務局（佐々木課長）

スポーツ振興課の佐々木と申します。私からご説明させていただきます。

まずは資料1をご覧ください。第2期松江市スポーツ推進計画の成果指標の推移でございます。昨年度、計画期間が終了しておりますけれども、その最後の年度の数値が確定しましたので、皆様にお伝えさせていただくものでございます。

資料の一番上の「基本方針1 ライフステージに応じたスポーツ活動の推進」をご覧ください。「成人の週1回以上のスポーツ実施率」については、目標値は65%程度でしたが、2024年度は42.8%ということで、目標値に届いていないという結果でございました。過去5年間の結果を見ますと、37.8%から上昇基調にはありますけれども、目標まではまだちょっとたどり着いていないというところでございます。

続きまして「卒業後、自主的に運動やスポーツをする時間を持ちたいと思う中学生の割合」ですけれども全国体力・運動能力、運動習慣等調査をスポーツ庁が行ってしまして、こちらの数値から拾っているもので、80%程度を目標としておりました。昨年度の結果は81.3%ということで目標値はクリアをしております。ただ、目標値はクリアはしているんですけれども、経年を見ますと若干微減したり横ばいというような傾向になっているところでございます。

3つ目は「市営スポーツ施設の年間利用者数」です。こちらは目標を130万人としておりました。コロナがあつて利用が落ち込んでおりましたけれども、昨年度は119万9000人ということで、目標値には達成してはおりませんけれども上昇基調にあるところでございます。

続いて「基本方針2 健康づくりを楽しむスポーツの推進」です。こちらは「健康寿命」、65歳を超えてから介護を必要とせずに自立して健康で生活できる期間の平均値というものを目標値としておまして、2024年度の目標は、女性が21.66年、男性が19.06年でございました。結果といたしましては、女性は21.87年ということで目標値をクリアしておまして、男性は18.51年ということで目標値に到達いたしませんでした。女性は微増ですけれども上昇基調にありまして、男性は年によって上がったたり下がったりしておりますが、計画策定時の男性18.43から2024年度は18.51ということで、若干微増となっているところで

す。

続きまして「基本方針3 夢と感動をきっかけとしたスポーツの推進」です。目標は、「島根スサノオマジック平均観客数」が4,000人でした。2024年度は4,117人ということで目標値をクリアしております。ただ前年が4,219人でしたので、平均100人くらい減少しているんですけれども、主な理由といたしましては、試合の平日開催が多かったことや対戦相手などが影響してこういった数値になっているというところでございます。

次に「基本方針4 スポーツによる地域活性化」というところで、「国宝松江城マラソン参加申込者数」と「まつえレディースハーフマラソン参加申込者数」が、それぞれ目標5,500人と2,700人としておりました。2024年度の実績は、国宝松江城マラソンが4,552人、まつえレディースハーフマラソンは1,811人ということで、それぞれ目標値には少し届いていない状況となっております。ただこちらもコロナで中止していた期間がありながら今は増加基調になっておりますので、より多くの方に参加いただけるように引き続き取り組みを進めて参りたいと思っております。「松江版地域スポーツコミッション」につきましては、昨年度設立いたしました。先ほど松浦会長からお話いただきましたけれども、2ヶ月に1回程度の交流ミーティングなどもしておりますので、皆様方にもよろしければご参加いただいて、いろいろな方と交流いただくことも面白いかと思いますので、またご検討いただければと思います。

次に「基本方針5 スポーツ活動を「ささえる」環境の整備」です。1つ目として「国宝松江城マラソン・まつえレディースハーフマラソン ボランティア協力者数」ということで、目標値を2,000人としておりましたけれども、2024年度は1,263名ということで目標値には到達はしておりません。ボランティア者数は前年に比べて減っておりますけれども、理由としては、大会運営自体もう随分慣れてきまして効率化を図っているところもありまして、そもそもボランティアの人数もちよっと少なくとも大丈夫かなということで減っているところになっております。目標値につきましては今後改めて見直しを行いまして、数値を少し下げるといった形でしていきたいと思っております。「スポーツボランティアバンク」につきましては、今回の第2期計画の期間では創設が難しかったということで、未創設となっております。こちらは、スポーツコミッションの事業として今年度中に創設をしていきたいと考えているところです。以上が、第2期計画の実績でございます。

続きまして、第3期計画の成果指標ですけれども、基本的には第2期計画と重なる部分がございますので、新しい項目についてご説明させていただきます。

まず1つ目は「全国大会・国際大会出場者数」でして、全国大会や国際大会に出場される選手の皆さんに激励金を支給しております。その実績から数字を取っております。目標値500人に対して、昨年度は495名の皆さんが会場に激励金をお渡ししております。前年の2023年度につきましては416名、さらにその前の2022年度につきましては389名ということで、コロナが明けたことでもありますけれども、こういった制度があるということの周知を図ったり、会場に激励金が増えたりということで、近年は増加傾向にあると

ころになっております。

続きまして「スポーツによる国内の交流事業の実施回数」でございます。目標値を 8 回としておりますけれども、昨年度の実績は 4 回となっております。内容といたしましては、宝塚市との少年と大人のスポーツ交流をそれぞれ毎年開催しています。尾道市との少年サッカーのスポーツ交流、それと松江城マラソンに姉妹都市の大口町さんの方から毎年参加いただいております、これらの合計で 4 回となっております。目標を 8 回としておりますので、さらに増やしていけるように進めていきたいと思っております。

次に「スポーツによる国際交流事業の実施回数」でございますが、目標値 5 回に対しまして、現状値は 3 回でございました。市が後援、あるいは主催したりというような交流事業についてカウントしております。昨年度の 3 回は、アメリカとの中学生のバスケット交流の受け入れがございました。それと、太極拳協会が中国の杭州市から先生を呼んでいらっしやいまして大会で指導をされています。あと NPO 法人 SIS アカデミーさんという中学生の野球チームがあるんですけれども、3 月に台北市で開かれた国際大会に出場していらっしやる。以上 3 つの数をカウントさせていただいております。目標値としては 5 回でございますので、我々の方も引き続き活動の方を進めて参りたいと思っております。

それから、第 3 期スポーツ推進計画にこれまで記載しておりました現状値ですけれども、2024 年度の結果がすべて確定いたしましたので、古い数値が入っている部分につきましては、確定した数値に変更させていただこうと思っております。具体的に言いますと、健康寿命、全国大会・国際大会の出場者数、島根スサノオマジックの平均観客数、市営スポーツ施設の年間利用者数、これらについては暫定数値で入れておりましたので、確定した数値に変更させていただこうと思っておりますので、ご了承いただければと思います。私からの報告は以上でございます。

○松浦会長

ありがとうございました。ただいま報告がございましたが、このことにつきましてご意見ご質問があれば受け付けたいと思いますがいかがでございますか。高梨さんどうぞ。

○高梨委員

「成人の週 1 回以上のスポーツ実施率」なんですけれども、特に極端に低いとか、割と高い傾向にあるとか、年代ごとの数値というのはあるんでしょうか。

○松浦会長

事務局どうぞ。

○事務局（佐々木課長）

こちらの数値は、市のまちづくりに関する市民アンケートで回答いただいた数値となっ

ておりますけれども、年代別で言いますと、20代から50代が4割未満となっております。さらに性別で見ますと、30代の女性が22.3%ということで、一番少ない数値になっています。これと別にアンケートを取ったものもあるんですが、年代として子育て世代の皆さんというのは、そちらに傾注する傾向があるので、スポーツをしにくい。さらに加えて女性の方は余計に少なくなっているという傾向はございます。

○高梨委員

ありがとうございます。こういう調査はよく見るので、傾向としてどこかが引き下げている要因になっていることが多いと思いますので、そういった年代の方向けの取組も考えてやっていきたいなというふうに思います。ありがとうございます。

○松浦会長

はい。さらに皆さんのご意見、どうぞご遠慮なく。三島さんどうぞ。

○三島委員

スポーツによる国内の交流事業の実施回数のところで、2024年度が4回となっていて、2030年度に8回という目標を掲げられていらっしゃいますけれど、ここの交流をするという何か目安とかはあるのでしょうか。

○松浦会長

事務局どうぞ。

○事務局（佐々木課長）

確定したものではなくて、今やっている姉妹都市交流の中で言いますと、珠洲市とはまだ交流ができていないので、こういったところは向かっていきたいなと思っています。ただ具体的に何で交流するということろまではまだ出てきていないところです。

○松浦会長

よろしいですか。ありがとうございます。他に積極的にご発言いただきたいと思いますがいかがですか。無ければ一旦ここで区切りをさせていただきます。

報告事項「令和7年度取組について」事務局から説明をお願いします。

○事務局（佐々木課長）

資料3をご覧いただければと思います。こちらは第3期の実施計画の一覧表となっておりまして、これまでも進めていた継続の取組と新規の取組をそれぞれ分けて、今すでに取り組みがあるものについては「○」をして、備考に具体的な内容を記載しているものです。

継続する取組につきまして主だったものを順番に説明させていただきます。まず 1 ページ目の継続の一番上、「夢の教室（トップアスリートによる特別事業）」ですけれども、昨年度までは年 4 回の開催だったものを今年は 8 回ということで、トップアスリートに来ていただいて学校の授業に入っていただくということを進めているところでございます。2 つ目の「各種スポーツ教室（企業との連携）」ということで、パナソニックさんと松江市がスポーツ連携協定を結んでいるんですけれども、今年は、SV リーグの中でも強豪チームの大阪ブルテオンに来ていただきましてバレーボール教室を実施する予定です。対象といたしましては、今年はインターハイがありますので、高校生の選抜チームを対象に指導をしていただこうと思っているところです。「こどものためのスポーツ見本市の支援」ですけれども、今年も松江スポーツ協会さんを中心に 6 月 15 日の開催予定ということで進めているところでございます。

続いて新規事業をご説明させていただきますと、先ほどのスポーツ見本市の継続開催以外では、3 ページ目の 47 番「スポーツコミッションによる観光連携事業」というところになります。7 月の中旬に八幡カップというシニアのバスケットボール大会、全国から 600 名以上の方が集まる大会が 3 日間にわたって開催されることになっております。また先ほど申し上げましたけれども、7 月 28 日からはインターハイが開催されまして観客も合わせますと 5 日間で延べ 3 万人ぐらいの方に来ていただけると見込んでいるところです。そういった中で、せっかく松江に来ていただきますので、観光施設、あるいは松江の飲食店などもご利用していただきたいということで、今の商工会議所さん含め各部門と連携をとっておりまして、いらっしゃった方に観光施設の割引の適用や特典を提供していただける飲食店の紹介などを事前におこなったり、来ていただいた方にそういったお店にも回っていただくような仕組みづくりを今準備しておりまして、主催者側と調整をしながら今月の下旬には参加者の皆さんに発送できるようにしているところでございます。続きまして 50 番目の「スポーツコミッションを通じた新規事業の創出」ですけれども、こちらは先ほどの松浦会長からもおっしゃっていただきましたけれども、スポーツコミッションの中で交流ミーティングというものを開催しております。異業種交流ということでスポーツに関わる多くの皆さんに集まっていただきながら、今回は松浦会長にこれまでのサッカーの取組とかスポーツへの思いとかいろんなお話をしていただいたんですけれども、松江でスポーツで活躍しているいろいろな皆さんにお話をしていただくと同時に、そのあとの懇親会で交流をしていただく中で、新たな人の出会いを作りながら何か新しい事業に向けてスタートが切れればという場を提供しているところです。今後大体 2 ヶ月に 1 回のペースで開催をしようと考えているところです。続きまして 52 番「スポーツツーリズムをテーマとした外国人誘客の促進」ですけれども、今年の国宝松江城マラソンに台湾から実際に走ることでできるインフルエンサーを招待しまして、マラソンを走っていただいて情報発信をしていただくということを国際観光課とともに計画をしております。あと 54 番につきましては、先ほどと同じく観光連携を進めていくというものでございます。新規事業は以上でして、その他

は継続事業として引き続き進めていきたいと思っているところです。私からの説明は以上となります。

○松浦会長

説明どうもありがとうございました。委員の皆様からご質問、ご意見を賜りたいと思いますが、いかがでございますか。湯町さんどうぞ。

○湯町委員

松江スポーツ協会の湯町でございます。この 4 月に松江体育協会から松江スポーツ協会に名称変更いたしました。また今後ともよろしく願いいたします。先ほどから話が出ておりますけども、スポーツコミッションを設立され交流ミーティングも開催されているようです。私どもの職員も参加させていただいておりまして、単なる大会の誘致とか合宿の誘致とかいうことではなくて、いろんな情報交換することによって新たなものが生まれる、そういう気配を非常に感じております。今後ともこれをきちんと育てていただければなということが 1 点目です。もうひとつは単純に質問ですけれども、1 番目の夢の教室のところで学校で行うと言っておられましたが、その学校にいる児童生徒さんしか参加できないものなのかどうか教えていただきたいと思います。

○松浦会長

事務局どうぞ。

○事務局（佐々木課長）

こちらは学校を対象にしておりまして、教育委員会を通じて各学校にアンケートをとりまして、手を挙げていただいた学校にお邪魔して学年単位とかクラス単位で授業をさせていただいているものです。昨年度の 4 回から今年 8 回に増やしているのは、学校の応募の数が非常に多いということがありましたので、スポーツ振興基金を財源に、お子さんたちへの機会の提供を増やしていきたいと思っているところでございます。

○松浦会長

湯町さんどうぞ。

○湯町委員

ちなみに、今年はどんな先生が来られるのでしょうか。参考まで。

○事務局（佐々木課長）

今年はまだ決まっておりません。昨年は女子サッカーの元日本代表選手やバスケットの

女子日本リーグで活躍をされた選手が来られたり、これまで各業界のトップアスリートに来ていただいております。

○松浦会長

ありがとうございました。他にはいかがですか。山縣さんどうぞ。

○山縣委員

17 番の「スポーツ巡回指導（ラジオ体操、まつえっこ体操など）」は、まだ何も決まっていないんですよね。こどもに指導できるスキルのある方っていうのは、そうそういないみたいでなかなか難しいなと。ラジオ体操がとても上手でまつえっこ体操も知っているという方はいるんですけど、それをこどもに指導ができるかっていうとちょっと難しいですよね。そういうスキルのある方がおられる団体ってあるんでしょうか。スポーツ推進委員の方とか、さんびるの方とか、レクリエーション協会の方とか、どうですか。これを進めていくためには、指導者がいないとどうしようもないんです。ボランティアバンクもまだ立ち上げてないです。そこで、各団体からこどもに指導ができる方の募集とかはどうなんでしょうか。あと、幼稚園とか保育園とか児童クラブとか、手を挙げられたところに行くような形になるのでしょうか。

○松浦会長

分かりました。事務局どうぞ。

○事務局（佐々木課長）

実はこの後の議題の中でいろいろとご相談をさせていただこうと思っているところなんですけれども、それも含めて、どの年代、どの施設に行くのかも含めて、ターゲットを絞っていく必要があるのかなと思っています。例えば、児童クラブとか、放課後こども教室とか、全部をターゲットにしてしまうと、事務的にも整理をするのがすごく大変かなと思っていますし、あと、指導者の話もまさにおっしゃるとおりでして、こどもに指導する力とか、責任とか、やっぱり指導する方自身も不安に感じられるところもあると思いますんで、そういったところをどういうふうクリアしていくかというのはかなり大きな課題かと思っています。今、募集っていう話もありましたけど、誰でもいいっていうわけにはいかないと思いますんで、その辺の仕組みづくりについてこのあとの議題のところでご意見をいただければと思っていますところなんです。

○松浦会長

よろしいですか。他には。三島さんどうぞ。

○三島委員

5 番の「中学校部活動地域移行」のことなんですけれど、今、どのような感じで進んでいるのか知りたいなと思っています。部活動なのか、地域、社会体育になるのか、何かその辺がすごく曖昧で、保護者もどのように関わっていいのか迷っているみたいに見受けられるんです。今どんな感じなんでしょうか。

○松浦委員

せっかく今日から上田さんがデビューされましたから、この機会にご発言をどうぞ。

○上田委員

全国的にこの地域移行ということに関してはとても話題性もあって動いているところなんですけど、やはり学校現場の体制であったり、教育委員会も入って今動いていただいているところではあるんですけど、いろんな方のご意見を聞くと一つにまとめて進むことがやりづらいついてというのが現状なのかなというふうに思っています。これは県も関わっていくんですが、やはり指導者の確保というところで県もすごく困っている。人材バンク的なところですね。なかなか進んでいないところではありますが、例えば雲南市とかは、今年から土日については地域展開ということで学校を離して地域が見ていきましょうということで進んでいるところもあるというふうに聞いています。松江市も一生懸命動いていただいているところではありますが、教員不足もあって部活動の顧問が減っていく。こどもも減っていく。部活を減らさないと部員がいなくて試合に出られない。こういう悪循環もすごく起こってきているところなので、とても苦しいというふうに思ってくださいとありがたいです。

○松浦会長

三島さんいかがですか。

○三島委員

ですよね。分かります。分かるんですけど、せっかくこどもがやる気で部活に入っても、顧問がその専門の方ではなかったり、あるときは練習日で学校の体育館に行きましたけど、顧問の先生が来ていらっしゃらなくて鍵が開かなくて、外部の指導者さんは鍵を持ってないから仕方なく校舎の周りをぐるっと走ってその日は終わったり。なんかそういうことが頻繁にあっても困るなあと。やはり学校単位で、部活なのか社会体育なのか、その辺がはっきりしないと、保護者も協力する気持ちはあってもどのように関わっていいのか本当に迷っているという話を聞いていますので、よろしくお願いします。

○松浦会長

はい、分かりました。いろいろ学校によって差があろうかと思います。はい。この件に関

して他には。湯町さんどうぞ。

○湯町委員

以前は地域移行っていう言い方をしていましたけど、先ほど地域展開という言い方をされました。単に学校から地域に渡すのではなくて、学校も含めて地域と一緒にやっていくんだよっていう意味合いなんですかね。

○松浦会長

上田さんいかがですか。

○上田委員

雲南市さんは最初から地域展開という言葉を使っていたんですが、先日も新聞紙上に出ていたんですけど、こういう言葉が今年になってポンと主流になってきました。先ほどおっしゃったように、「移行」というよりは、学校、教育委員会、いろんなところも含めてやっていきましょうということで「展開」という名前にちょっとずつ変わっていきましようというようなメディアの発表もございました。

○松浦会長

はい。湯町さんどうぞ。

○湯町委員

昨年度計画を作ったときには「地域移行」でしたけれども、括弧でも「展開」と付けたい方がいいのかなと思ったところですが、いかがでしょうか。

○松浦会長

事務局どうぞ。

○事務局（佐々木課長）

教育委員会の方で、中学校部活動の在り方検討委員会を改めて開催されると伺っておりますので、言葉の流れなども含めて、展開という言葉も加えられれば加えていきたいと思っております。

○松浦会長

はい。ありがとうございました。福田さんどうぞ。

○福田委員

明るいニュース的な事です。こういった会議でいろんな計画をして体制を整えていくということは大切で、本当にここに来させてもらっているのを感謝しております。中学校でバレーボールをやりたくて始めたという中学生の親御さんが、私の所属するママさんバレーのクラブの練習にその子を連れてきておられました。ママさんバレーの練習なんですけど、こどもたちが来ると、一緒に練習して、キャリアの豊富な私たちが指導していくっていうのは、何かに登録していたり資格があるわけではないんですけど、一緒に技術を高めていける貴重な場ではなかったかなと思いました。それから、先月、ラジオ体操の指導者研修があって山口に行って参りました。島根県は去年は1級取得者が3人で今年は4人になりました。全国に比べたら中四国が特に指導者が少ないということです。指導者研修に中央から来られた講師先生から、中四国の方頑張ってくださいというメッセージももらって帰りました。松江市のスポーツ推進委員協議会というものがありますので、松江市の非常勤職員という立場ですので無償で出かけて参りますので、何かのときには声を掛けいただけたらいいかなって感じました。

○松浦会長

ありがとうございました。まさに明るい話題かもしれません。今後のご活躍を期待したいと思います。他にご意見はございますか。なければ西村副会長にお願いしたいと思います。

○西村副会長

はい。これらの事業をやっていくにあたっては、スポーツコミッションとともに最後のところにあります「ささえる人や組織の育成」ですね。人がいなければ事業も展開できませんので、今ご指摘いただいたような指導者の養成っていうところが大きな鍵になってくるのかな。先ほど上田先生からお話ありましたが、私は雲南市の地域展開の委員もしてまして、雲南市は元からあるキラキラ雲南をベースとしながら地域展開を進めていくとともに、指導者バンクを展開して、各競技団体の協力をいただきながら、まず土日を地域展開すると、おおよそそういう方向が見えてきている段階にあります。松江市の場合はさらに広くて学校の規模も各種あるので、その中で統一的な展開をするのは非常に難しいとは思いますが、どのような方にお力添えいただけるのか、指導者の方を今まで以上に発掘して、お力添えをいただくということは非常に大きな力になるかと思います。それから、第2期のデータと兼ね合わせて気になったのが、「卒業後、自主的に運動やスポーツをする時間を持ちたいと思う中学生の割合」という目標があるんですけども、今後、地域展開をしていくと部活は地域に出て行きます。全部の部活をやめるとすでに決めていたり平日からやめると宣言している市もあります。そういうところは割と都市部で、民間など受け皿があるという前提ではあるんですけども、そういう方向性が明確になる中で対策をとっていかねばいけないと思います。成人のスポーツの実施率を見たときに、その要因となっているの

は中学高校時代に部活動を経験したかどうか、スポーツに親しんだ経験がある方というのは成人してからスポーツを実施する率が高いというデータもありますので、今後中学高校時代に、学校の部活に限らず地域のクラブで活動しているかどうか実施率を追いかけていくということは、目標値を達成する上では重要な鍵になってくるのかなというふうに思っています。あともうひとつは、幸いにして島根県の場合、2030年の国スポに向けて、県スポーツ協会も各競技団体に対しては指導者養成ということで特別の予算などがありますので、その中で競技のトップレベルの指導者養成だけではなく普及レベルの方たち、特に低年齢の子どもたちに指導ができるような指導者も同時に育成するというのを、競技団体や県スポーツ協会とも連携をしながら計画に組み込んでいくことも重要なのかなというふうに思っています。あわせて期待をしたいのが63番、「大学との連携」です。島根大学の人間科学部や県立大学もありますし、先日はサッカー協会から大学に来ていただいて教育学部の学生にサッカーの授業をどんなふうに展開したらいいのかということに授業でお話いただいたりもしました。スポーツ指導に興味のある学生は多くいますので、学年によっては夕方出掛けやすいこともありますので、彼らが子どもたちと触れ合う機会というものを上手に計画の中に組み込んでいくことで、中学生ですとか高校生がこれからもスポーツに触れる機会というものも提供していけるのかなというふうに感じているところです。こういったところを他の皆様とも情報共有をしながら、こんな指導者いないかなというような事業があれば、是非とも継続していくことで、松江市のスポーツの推進に展開できるのかなというふうに感じました。

○松浦会長

総括みたいな格好になりましたけれども、貴重なご意見をありがとうございました。ご意見があればどうぞ。質問でもいいです。白水さんどうぞ。

○白水委員

別の視点の気づいたところを2点だけコメントさせていただきます。1点目がスポーツコミッションの交流ミーティングの話です。先ほど湯町様からありましたけど、やはりこの取り組みが非常に大事だと個人的には思っておりますので、継続して開催いただけるということをぜひお願いできればというところ。それから、異業種交流の視点に加えてコミュニケーションの近さが強みだと思えます。若い人材とか大学生とか、そういう方々が、この地域のキーマンと気軽に会えるようなところがポイントだというコメントが岡山の事例紹介の中でもありましたので、ぜひ市長とか商工会議所会頭とか、お忙しいのでなかなか気軽に参加は難しいかもしれませんが、早めに日程調整できれば参加いただいて、そういういろんな方々が交流できる機会にいただければありがたいというのが1点目です。もう1点は金融機関の視点なんですけど、番号で言うと52番と56番。松江城マラソンの開催で、今年は朝ドラのばけがけが放送されますので、すでにいろんなマーケティング戦略をされて

と思いますけど、やはりすごいビッグチャンスなので、ぜひ域外から来る方々にそういうアピールを積極的にやっていただきたいと思います。ちなみに松江城マラソンの申込締切はいつですか。

○事務局（佐々木課長）

9月末です。

○白水委員

なるほど。放送が始まるのが9月下旬でしたよね。ドラマを見て、来たいっていう方も増えると思うんで、大会運営の準備とかもあるかもしれませんが、できれば少し柔軟にできるとさらに増える可能性もあるかなと思ったところです。

○松浦会長

はい。ありがとうございます。事務局よろしいですか。

○事務局（佐々木課長）

ご指摘ありがとうございます。確かにおっしゃるとおりで、特にばけばけを活用したという視点がなかったものですから、松江城マラソンもですけど、そのあとにレディースハーフマラソンもあって、まさに放送まっただ中になりますので、そういったものも活用しながらPRをしていきたいと思います。ありがとうございます。

○松浦会長

それではここまでで一区切りとしたいと思います。

5 議事

○松浦会長

続いて議事に入ります。今後の具体的取組について、説明をお願いします。

○事務局（佐々木課長）

今後の具体的取組について、皆様のご意見をいただきたいと思います。資料4をご覧ください。昨年度の審議会でご意見をいただいた中で、大きなポイントだった2つの取組について挙げております。

まず1つ目の「こどもへのスポーツ体験の提供」につきましては、現在、こどものためのスポーツ見本市、放課後こども広場などにおけるミニテニス教室、こういったものを松江市から委託して実施しております。加えて、学校訪問事業ということで、パラリンピアンの方

に学校で授業をしていただくあすチャレ！スクールと、元トップアスリートの方に来ていただくJFA夢の教室、さらに、島根ササノオマジックの選手による学校訪問というのをやっております。またそのほか、パナソニックが持っているバレー、ラグビー、野球などのチームから年に1回松江に来ていただいてスポーツ教室をしていただいております。今後実施していくものとしては、前回の審議会でご意見をいただく中で、例えば放課後こども広場とか児童クラブ、そういったお子さんが集まっている場所に指導者が訪問して体験会を実施するというものと、体育館とか陸上競技場などにこどもに来てもらってそこでいろいろな体験会を実施するという2つの方法があり得るのかなと思っています。ただ、それを進めていく上では、十分な広さのある場所の確保やこどもたちが集まりやすい場所の確保が課題になってくるかと思っています。加えて、指導者の確保も大きな課題かなと思います。放課後こども広場や児童クラブなどに平日夕方に行って指導していただける人の確保、あるいは、こどもへの指導に関して、資格、資質、ノウハウを持っていられる方を確保することは難しいと思っておりますし、特定の競技に偏らずにいろんな種類の指導者を確保していくことも課題になってくるかなと考えているところです。

2つ目は「身近な場所で取り組めるスポーツの推進」ということで、いろんな形の推進があると思うんですけれども我々の中では、身近な場所への距離表示というのはひとつの方法としてあろうかと思っております。現在実施している場所としては、松江総合運動公園の園路や、今は工事中ですけれども宍道湖北岸の遊歩道にも距離表示がございまして、ランニングやウォーキングしていられる方がいると思います。それ以外で今後実施していく場所の案としては、市が所有する施設では、北公園、あるいは宍道総合公園や美保関総合運動公園、こういったところで距離表示をしたり、あるいは道路の歩道、歩道に直接書くのは難しくても縁石などを利用して距離表示をすることで、散歩したり走ったりした距離が分かれるとよいのではと思います。大手前の直線道路や宍道湖の北岸ですとか、鹿島にも開けた直線の道路がありますので、そういったところなども距離表示していくと、皆さんが散歩あるいはジョギングなんかを活用していただけるのかなというふうに思っているところです。そういった取組を進めるにあたっては、施設管理者との調整ですとか分かりやすい表示というところが課題になってくるかと思っております。これら二つの取組について、今我々が考えているものをお示しさせていただいたところですが、皆様方から例えば身近な距離表示はこんなことをしたらいいのではというアイデアですとか、あるいはこどもの体験についての指導の方法とか、スキームとかがあったりするのではないかと、ご提案やご意見をいただきながら、次回の審議会までに我々の方で練ってお示しさせていただきたいと思っています。

本日の議事としましては、こういった議題をいろいろ掘り下げてご意見をいただければと思っています。

○松浦会長

先ほどの説明について、皆さんからご意見をいただきたいと思います。いかがですか。山縣さんどうぞ。

○山縣委員

指導者についてですけど、こどものためのスポーツ見本市でまつえっこ体操の指導をしてくださるのはどなたなんですか。

○松浦会長

はい。湯町委員どうぞ。

○湯町委員

見本市は松江スポーツ協会で実施するものでございまして、オープニングイベントで、みんなでまつえっこ体操をすることにしております。松江市の健康福祉フェスティバルと合同開催でやりますので、市の健康推進課の職員とスポーツ推進委員さんにお出かけいただいて、指導というより、みんなで一緒に体操するという内容でございます。

○松浦会長

山縣さん、よろしいですか。

○山縣委員

まつえっこ体操とかをこどもたちに楽しく伝えることもできる人がおられるというのを聞いて安心しました。

○松浦会長

ありがとうございます。他にはいかがですか。安部さんどうぞ。

○安部委員

ラジオ体操の話が出ましたが、先日たまたまNHKでラジオ体操をやっている、手の上げ方とか、ここを注意してやってくださいという解説が付いていました。それを見ながらすれば、特に指導者っていうほどの方じゃなくても、そこを注意しながらできるんじゃないかな。そのビデオを入手してみんなでやってみるとかしたら、誰もが指導できるんじゃないかなと思いました。

○松浦会長

ありがとうございます。他にはいかがですか。はい上田さんどうぞ。

○上田委員

身近な場所で取り組めるスポーツ推進ということで、さっき距離表示のことが出ましたが、例えばＩＣＴを活用してアプリケーションを使って、ここを走ったらどれくらいだよという看板を設置されるとか、三瓶の西の原や穴道湖岸で一定期間にＱＲコードを読み込んで走って送るというようなイベントをしているときもありますが、例えばそういうのを設置されたりとかも考えておられるかなと。これだけではなくて、スポーツとＩＣＴの開発ってこれから先とても大事。国スポに向けて、人口も減ってくる中で、ＩＣＴの力で補っているアプリケーションを使って大会運営をしていくっていうのはこれから先すごく必要だなと。私は新体操に関わっているんですが、前々回のインターハイそれから前回の全中も少ない指導者でやり遂げることができたのは、県外の企業のアプリケーションを使わせていただいたという経緯もあるので、地域の振興も考えてそういったアプリケーションの開発というのもぜひお願いしたいなと思うのですが、今どんな状態でしょうか。

○松浦会長

分かりました。何かやりかけたことと、さらに新しいものを提案いただいたようですが、事務局いかがですか。

○事務局（佐々木課長）

アプリの開発まではなかなか踏み込んではいないところです。どういった仕組みで、どこまでのお金を掛けてできるかということも含めて一回検討はしてみたいと思っております。ＩＣＴを使うっていうのは、西村先生も以前おっしゃったことでもあるんですけども、今ご提案いただいたような事例もあるようですので、そういった手法も研究してみたいと思います。ありがとうございます。

○松浦会長

今日にはぎやかな会議でございます。もうちょっと時間がありますが、ご意見ご質問はいかがですか。白水さんどうぞ。

○白水委員

上田様からご指摘いただいたスポーツとＩＣＴについて私も同じような感覚を持っています。ちょっと視点がずれるかもしれませんが、健康増進のためにＩＣＴで歩数とかを管理して、歩けば歩くほどポイントになって、そのポイントがサービスに交換できるというような取組を行っている自治体が、鎌倉とか他にもあると思います。健康寿命を延ばす観点でも大事だと思いますので、ぜひそういうのを参考にいただければありがたいなと思いました。

○松浦会長

だんだん新しいアイデアが出てきました。高梨さん、何か言いたいことがありそうですが。

○高梨委員

ありがとうございます。私どもは、キッズスクールや競技スポーツを始める前の段階の体づくりみたいな事業もやっています、実際に学童保育や各児童クラブさんからのご依頼で伺うことがすごく増えています。その時に、すごくもったいないなと感じているのが、親御さん含めてこういうスポーツがやりたいという相談をされたときに、競技団体さんに連絡した方がいいのか、地元にあるチームに連絡した方がいいのか、どう繋げていいかわかっていない部分もあって、すごくそれが機会損失になっているというのは私も反省をしているところです。ある意味、動線のところなんですけども、プラットフォーム的に、そういった方がおられたときにはここに相談すればいろんな競技団体とかチームに流れるような形ができると、私たちも非常にご紹介もしやすいとうちの指導員も日々言うておりますので、ぜひこの審議会も含めていろんなところで連携をとらせていただけたらなと思っております。

○松浦会長

事務局どうぞ。

○事務局（佐々木課長）

そういったリクエストがあるということはあまり分かっていなかったもので、チームを見つけるのは学校や地区での繋がりや保護者さん同士の繋がりの中でというような感覚で、組織としてどこかを紹介するという発想はなかったです。ただ、それを進めていくときに、紹介する側の責任が結構難しくて、地区で紹介した方がいいのかスポーツ協会の競技団体を通じて紹介した方がいいのか、何か基準を作っていくかといけなかなと思うので、その辺を我々も勉強させていただければと思っております。それから、ざっくばらんに話してしまうんですけど、先ほどの指導者の確保の話で、例えば、地区の児童クラブとかに指導に行くときに、地区のこどものスポーツの団体から誰かが来てこんなスポーツだよって教えてもらえると、指導する方もある程度のノウハウを持っていらっしゃるし、地区のスポーツクラブにとっても会員の増加に繋がったりするのではないかなと思っているところではあります。ただ、児童クラブとかで教えてけがをしたときの責任をどうするかという心配などもあったりしますんで、そういった点もクリアしながら、どれぐらいのレベルでスポーツの機会をこどもたちに提供できる場があるといいかなってところは今悩んでいるところでして、皆さん何か思うところがあれば教えていただけるとありがたいな思っているところです。

○松浦会長

いかがですか、皆さん。湯町さんどうぞ。

○湯町委員

スポーツの前段としてのこどもの遊び。我々が小さかった頃はいろんな遊びをしていたと思うんです。空き地あればやわらかい軟らかいゴムボールを使って野球の真似事してみたり、屋根にボールを上げてそれを誰が取るかみたいな遊びとか、天下とかいろいろあったんですけど、空間認知能力とか俊敏性とか、その後のスポーツに繋がる遊びをたくさんやっていたと思うんです。どうすればいいかっていうことは難しいんですけども、スポーツの前段としての遊び、スポーツの基礎、特に小さなこどもというのは、何かの種目というよりは汎用的に広がるような総合的な能力、そういったものを身につけさせてあげる方がいいような気がしますので、そういったことも含めてこれから考えていけたらどうかと思ったところです。以上です。

○松浦会長

はい。意見として承りたいと思います。他には。山縣さんどうぞ。

○山縣委員

こどものいろんな能力を発揮するための遊びをしながらこどもをその気にさせる。これ難しいんです。どうやってこどもをその気にさせるか。遊びながらいろんな基礎体力をつけていく。それがとても難しくてスキルが要るんです。皆さんそういう勉強もされていると聞いたのでちょっと安心しましたが、やっぱりそれなりの勉強をしないといけないんですよ。医学的なことでけがさせないようにというのもあるんですけど、こどもをどうやって惹きつけるか。そういう技術も要るので、ある程度上手な方じゃないとなかなかこどもがついてきてくれないと思います。

○松浦会長

なかなか難しい問題でございますね。他にはよろしいですか。はい、西村さんどうぞ。

○西村副会長

せっかくここでお集まりいただいているので皆さんにちょっとお伺いしたいのが、ひとつは先ほども出ました国内交流とか国際交流。国内の交流を4から8に、国際交流を3から5に、という話があったと思うんですけど、これは市が関係して把握しているもので、実際には国内の交流とかでもそれぞれの団体さんとかでいろいろやられていると思うんですよ。そういうのをどんどんここに組み込んでいけば、あつという間に二桁になるんじゃない

いかなと思っていて、それを市の方から広報というか情報発信すると、こんなことやっているんですとかあると思うので、今日ご参加の皆様のところでは他の市、中国地域ですとか鳥取とか、いろんなところと交流事業があるとか、アメリカから知り合いが来たとか、韓国から来たとか。うちのテニス関係でも韓国の方と韓流ドラマの繋がりでテニスをしにいらっしゃった団体が何年か前にありましたので、もしそんな事例があったら教えていただきたいなと思います。あともうひとつ、身近な場所で取り組めるスポーツとして先ほど大手前通りの話がありましたけど、朝酌川の近くでもよく散歩されている方がいらっしゃるんですね。身近なところで、普段、近所の方が集まっている、お散歩されている公園とか場所があると、そこにちょっとひと手間、ここを散歩すると桜が綺麗ですよとかそういう情報を共有できると、そこに人が集まってくるんじゃないかなと思うんです。こどもが集まる場所とか、僕らの世代だと草野球するための広場とか、家の近くで一般の方がよくスポーツをされている場所とか、皆様方のお持ちの情報があれば少し聞かせていただきたいなと思うんですけれどもいかがでしょうか。

○松浦会長

分かりました。せっかくの提案でございますので、どうぞ皆さん。上田さんどうぞ。

○上田委員

交流のことで言いますと、フレア体操クラブさんが、以前に YouTuber を呼んだり、総合体育館を借り切って内村航平さんと呼んで体験イベントをやったりしたんですが、その指導者と先日話をしたら、今年は自分たちが川崎に行って YouTuber とみんなが憧れのバク転もしてみようと。実はバク転って一生に一度はやってみたいっていう思いを持っておられる大人も結構いらっしゃって、専用で教えている体操クラブもあるぐらい憧れっていうのもあって、今年はバク転を教えに行くんですっていうふうに言うておられました。その繋がりで逆も今後やっていきたいというふうにおっしゃったので、それをきっかけにいろんな人と呼んでやって楽しんでみようっていうのは、民間のクラブさんもやっておられるので、ぜひそういうところに市も入っていただくともっともっと盛り上がるのかなというふうに思います。

○松浦会長

探してみればいろんなところに宝が転がっているようですが。先ほど西村先生の質問に対して、他にはいかがですか。高梨さんどうぞ。

○高梨委員

ちょっとジャストアイデアなんですけども、国外との交流で、来ていただくこちらが行くっていうのもひとつですし、今、うちのグループも含めていろんな企業さんで海外から来ら

れて働いておられる方もすごく増えていますので、留学生の方も含めて、スポーツを通じた国際交流のひとつとして、こちらにおられる海外の方との交流の場というのを作っても面白いのかなというふうに感じます。

○松浦会長

ありがとうございます。他にはいかがですか。大塚さんどうぞ。

○大塚委員

ウォーキングではないですけども、県立美術館の軒の下で毎朝、雨の日でも結構な人数の方がラジオ体操をしていらっしゃいます。ラジオ体操の方たちなんですけど、ああいう場所でデジタルサイネージ的なものでまっえっこ体操をビジュアルで見られるとか、他にもそういう所があればいいなと思います。

○松浦会長

ありがとうございました。いかがですか。もうよろしゅうございますか。大分意見も出たようでございますが、事務局さん何かよろしいですか。

○事務局（佐々木課長）

今いただいた意見を含めましていろいろ参考にさせていただきながら、第 2 回目に向けて皆さんにご提案できるものを準備していきたいと思います。ありがとうございました。

○松浦会長

スポーツ協会の湯町さんが、ぜひ宣伝をしたいという話のようでございます。

○湯町委員

先ほどお話が出ましたが、今日チラシをお配りしております。昨年、松江体育協会 100 周年を記念してこどものためのスポーツ見本市をやらせていただきました。今年も松江市からご支援をいただいて開催できるということでございまして、こどものスポーツが盛んになれば大人のスポーツも盛んになる。またそれが地域のスポーツに繋がって、健康づくりにも繋がる。そのためにはこどもを一番最初にやらないといけない。だけれども、小学校の部活も地域に移ってしまったし、これから中学校もどうなるか検討しているところ。遊ぶ場所がなくなってしまって、なかなかこどもがスポーツに親しむことができない。そういったことで企画をしたものでして、いろんなスポーツを見て知って経験をしていただくという企画でございます。去年は 14 団体の参加でございましたが、今年は 13 団体。去年は各ブースの持ち時間が 30 分だったんですけども、少なすぎたということで、今年はそれぞれ持ち時間 1 時間ずつでやっていただく。太極拳とか新体操とか剣道は、演舞ですとかデモンスト

レーションなどもやっていただく。去年はいろんな種目を見て知って経験していただくという趣旨がなかなか伝わってなくて、同じブースにずっと居続けるということもありましたので、今年はスタンプカードを作りまして、ブースに行ったらシールを貼って、7つ以上回ったら商品がもらえる。それぞれ深くということではなくて、まずは入口に立っていたら、知っていただくということで、今度の日曜日9時から、松江市総合体育館で開催いたします。もしご興味がございましたら、ちょっと覗いてみていただければというふうに思います。よろしくお願いいたします。

○松浦会長

はい。ありがとうございました。見本市について何か質問ございますか。よろしいですか。ないようでございますので、本日の議事については一応以上で区切りをさせていただきたいと思います。皆様方の様々な立場から、貴重なご意見をいただきまして、大変和やかな中にも成果の多い会だったと思っておるところでございます。皆様方のご協力に感謝をしながら、事務局さんに進行をお返しします。ありがとうございました。

6 事務連絡

○事務局（山尾係長）

ありがとうございました。松浦会長には、円滑な議事進行いただき、本当にありがとうございました。それでは事務局から何点か事務連絡をさせていただきます。ひとつは今思い付いたことなんですけれども、先ほど西村副会長から国内の交流とか国際交流とか、皆さんの団体あるいは皆様が独自に知っているものがあったら教えてくださいという質問がございました。あと皆様が普段見ていらっしゃる場所で何かスポーツの集まり的なものがあったら教えてくださいという質問がございました。今日は短時間でしたので、もしかしたら今は思い出せなかった委員の皆さんもいらっしゃると思いますし、家に帰った後で実はこんな集まりがあるんだよっていうのが聞けるかもしれないですし、お手数なんですけれども、これらのことについて後ほどアンケートをさせていただきたいと思いますので、皆様がお気づきのことあるいはご存知のことがありましたら教えていただければと思います。それから本日の会議の議事録については、事務局で作成させていただいた後に皆様にお送りして内容を確認していただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。あと、皆様にお支払いする報酬ですが、今年度から松江市全体の基準額が改定されて増額しておりますことをお知らせしておきます。所得税を源泉徴収した後の振り込みになりますので、よろしくお願いいたします。事務連絡は以上でございます。

7 閉会

○事務局（山尾係長）

閉会にあたり、文化スポーツ部長の桑原よりご挨拶申し上げます。

○桑原部長

委員の皆様におかれましては、非常に多くのご意見、ご提案をいただきまして誠にありがとうございました。市役所の中におりますと思いつかないことも、委員の皆さんが様々な角度からお考えのことをお話しいただいて、ありがたく思ったところでございます。皆様のご意見を踏まえまして、「スポーツでつくる夢を実現できるまち誇れるまち松江」の推進に向けて引き続き取り組んで参りたいと考えているところでございます。引き続きスポーツ振興につきましてお力添えをいただけたらと思っておりますのでどうぞよろしくお願いいたします。本日は大変お世話になりました。

○事務局（山尾係長）

以上をもちまして令和 7 年度第 1 回松江市スポーツ推進審議会を終了いたします。次回は 11 月頃の予定でございます。本日はありがとうございました。

〔11 時 30 分 閉会〕